



特定非営利活動法人

赤穂市国際交流協会 会報

AKO INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWSLETTER

2022.12

Vol. 68

## 国際理解講座を開催しました

赤穂市国際交流協会では、今年も8月23日（火）から28日（日）にかけて、市立図書館において「私の国際協力活動と異文化体験」をテーマに、講演会と写真展を開催しました。

講演会では、JICAの海外協力隊員として海外での支援活動を行った2名の方のほか、本年度は自衛隊にも協力いただき、それぞれ現地での活動や生活習慣、交流など任地での体験談について、ご講演をいただきました。

写真展では、海外での活動中に撮影した写真や赤穂市の姉妹都市ロッキングハム市との交流活動の展示を行い、訪れるのが難しい様々な外国の様子や支援活動の様子をご覧いただきました。



### JICA 関西 市民参加協力課 江川雅美さん「テランガに魅せられたセネガルの話」

JICA関西の市民参加協力課に勤務する江川雅美さんは、テレビで観たアフリカの子どもたちを助けたいとの思いから、タンザニアで単身でのボランティア活動を行い、その後に青年海外協力隊員として赴任したセネガルでの2年半の支援活動について、当時の写真を交えながらご講演いただきました。

### JICA 兵庫シニアOV会 小西裕美さん「私のベトナム体験」

国内で英語教師として、その後は海外で高校や大学の日本語教師として活躍されていた小西裕美さんは、JICAのシニア海外ボランティアに応募し、ご夫婦2人でベトナムに約2年間滞在。学生の日本語力向上や教員の指導力向上など、現地で行った支援活動についてご講演いただきました。

### 陸上自衛隊姫路駐屯地 中岡初年さん「陸上自衛隊の取組について」

海外での支援活動といえば、自衛隊も行っています。今回初めて陸上自衛隊から講師をお招きし、姫路駐屯地に勤務する中岡初年さんから、陸上自衛隊が対応した主要な災害派遣など各種事態等への対応や、日頃の訓練、南スーダン共和国での国際平和協力活動の様子など、普段なかなか直接耳にすることができない貴重なお話を聞かせていただきました。

## 日本語の教え方講座を開催しました

日本で生活する外国人の支援のため、「外国人に日本語を教える技術」の習得を目的として日本語の教え方講座を開催しました。

2019年度から始め、4年目となる本年度は初級（後期）として、5月から11月まで8月を除いて月1回、計6回シリーズで開催しました。

当協会の日本語教室において、外国人の受講生が増加していますが、本講座の受講生から新たに日本語指導の担い手が生まれるなど、実りある講座となりました。



場 所：赤穂市民会館2階 中会議室

講 師：池上 智恵子 先生（海外産業人材育成協会関西研修センター 元講師）

## やさしい日本語教室を開催しました

ひょうご国際交流団体連絡協議会の助成を受け、当協会としては3月に続き4回目となる、「やさしい日本語教室」を開催しました。

「やさしい日本語」とは阪神・淡路大震災をきっかけに、日本語に不慣れな外国人でも災害時に必要な情報を受け取ることができるよう考えられた、普通の日本語よりも簡単な日本語のことで、文化庁でガイドラインが定められています。

今回は会話編として、簡単で外国人に伝わりやすい日本語を中心に、会話によるコミュニケーションの基本を学びました。

講座の後半には実際に外国人の方にお越しいただき、グループワークで考えた「やさしい日本語」が伝わっているのどうかの学習を行いました。

とても実践的な内容で、有意義な講座となりました。

場 所：赤穂市民会館1階 大会議室

講 師：福井 武司 先生（神戸YWCA 学院日本語教師養成コース コーディネーター）



## ● ロッキングハム訪問延期

新型コロナウイルス感染症の流行により、赤穂市の海外姉妹都市西オーストラリア州ロッキングハム市への訪問事業が延期・中止となっています。

2020年に予定していた青少年海外派遣事業が直前に中止となり、その後の訪問も途絶え、本年度に予定していた児童合唱団の訪問も延期となりそうです。

この間、赤穂市国際交流協会ではコロナ禍で往来が難しい中での交流をとということで、お互いに、それぞれの地域住民に相手方の市を紹介してはどうかということをご提案しました。

その一環として、赤穂市が過去に制作した様々な英語版のPRビデオをホームページ上に集め、ロッキングハム市へ送りました。

このビデオ集は、英語圏のお知り合いの方に赤穂をPRする際にも活用いただけます。



URL:[http://www.city.ako.lg.jp/shimin/machizukuri/video\\_clips.html](http://www.city.ako.lg.jp/shimin/machizukuri/video_clips.html)

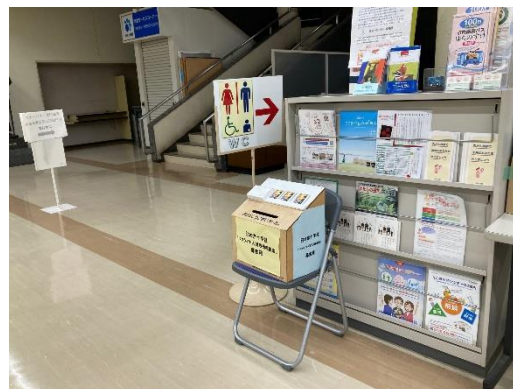
来年こそは、コロナが収束し、各種の交流事業が再開できるようにと願っています。

## 「ウクライナ人道危機救援金募金箱」が設置されています

2022年2月以降、ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。

この状況を受け、日本赤十字社では人道支援の一助として、各地に募金箱を設置しています。

赤穂市内では、令和4年3月9日から令和5年3月27日までの期間、市役所1階に設置されています。





## 日本語教室の仲間が増えました

新型コロナウイルス感染症の流行により、本協会が実施している日本語教室においても、外国人受講生が減少していましたが、入国制限緩和の影響なのか、この秋頃から受講生が増えました。

新たに10名（ベトナム人5名、フィリピン人3名、アメリカ人1名、インド人1名）の入会を経て、徐々にですが、賑やかさが戻りつつあります。

写真の下にも記載していますが、今後の受講生の増加に備え、お手伝いいただける方を募集しています。



## 日本語教室 受講生・ボランティア講師募集中！

赤穂市国際交流協会では、毎月2回「日本語教室」を開講しています。

日本語を学びたいという外国人の方、外国人に日本語を教えたいという方、ぜひお気軽にご相談ください！ボランティア講師には、特別な資格は必要ありません。興味を持っていただける方は、お気軽に一度教室をご見学ください。

日時：毎月2回（第2、第4火曜日）19：00から20：30ごろまで

場所：赤穂市役所 2階 204会議室

ご相談や見学の希望は国際交流協会事務局（赤穂市市民対話課）まで

電話（0791）43-6818 FAX（0791）43-6810

### ボランティア/会員募集

協会の企画運営・会報作成等のお手伝いをしていただける方を募集しています。事務局まで連絡下さい。

併せて、協会会員も随時募集中です。

【年会費】個人会員 1口 1,000円  
法人・団体会員 1口 10,000円

### ★ VOLUNTEERS WANTED ★

- Volunteers for planning / operating
- Volunteer for Newsletter editing

Please contact AIFA(Information below)

### ★ SPONSOR MEMBERS ★

【Annual membership fee】

- Private : ¥1,000
- Corporation : ¥10,000

特定非営利活動法人 赤穂市国際交流協会  
(市役所市民部市民対話課内)  
〒678-0292 赤穂市加里屋 81 番地  
Tel(0791)43-6818 Fax(0791)43-6810

AKO INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION =AIFA=  
(located at the Citizen Dialogue Department in City Hall)  
1<sup>st</sup> floor, 81 Kariya, Ako, Hyogo 678-0292, Japan

E-mail [taiwa@city.ako.lg.jp](mailto:taiwa@city.ako.lg.jp)

<http://www.city.ako.lg.jp/shimin/machizukuri/kokusaikouryu.html>